

コンピュータのソフトウェア障害

その2：障害の原因

障害原因の分類

- ・ 事前テスト・検討の不備
 - 新しいサービス・ビジネスの開始時
 - 新システムの導入、新機能の追加
 - 時間・予算・人員の不足
- ・ 障害の伝播
 - 二重三重にバックアップされたシステムでの障害
 - 待機システムへの切り替えに失敗
- ・ 機器の老朽化・耐用年数を超えての利用等
- ・ 人為的なミス（故意ではないもの）

「基幹業務」がおかれている状況

24 時間 365 日の無停止システムが要求される
さらに急変するビジネスに対応した新しいサービスが要求される
迅速に対応するためにテスト期間にしわ寄せがくる

↓

複雑なものがバランスを崩すことなくより複雑になるのは難しい

↓

より障害が起きやすい状況が発生している

→ EUC(エンド・ユーザ・コンピューティング)という逃げ道・・・

問) EUC に逃げるといったのはどういうことなのか？

問) 記憶に残っているコンピュータトラブル事例とその原因をあげてください・・・

障害と影響

広域情報通信の影響

- 人工衛星の障害
- 地震などの広域にわたる天災

地域情報通信の影響

- 通信線の障害
- 停電事故

組織内の情報通信トラブル

- 多種多様

個人

- これまた多種多様

損害額の算定はなかなか行われない・公開されないのだが・・・

1998 年の ERP(業務パッケージ)被害額(MERIT の調査)

システム停止は 1 週間に平均 2.8 時間

失ったコストは 1 時間あたり平均 3 万 5950 ドル, 年間 503 万ドル

・・・予想以上に大きい!?

TCO (Total Cost of Ownership)

システムの導入・維持・管理にかかる費用の総額

コンピュータが安価になり導入費用(製品価格)だけではなく、その後の費用(ランニングコスト)が無視できなくなった。

→ 課題でもだしたように、TCO を抑えることは利益を確保する上で重要!